

田村市 被災地復興企画展

- 帰還した小学校がめざした教育とは -

とき **7月4日(土)・5日(日)**

入場
無料

ところ **東日本大震災・原子力災害伝承館**

(双葉町大字中野字高田39 Tel0240-23-4402)



避難指示区域（旧警戒区域）を学区に持つ学校としては、一番最初に再開した古道小学校の実情を綴った、震災・原子力災害に向き合った初めての教育実践記録である「未来をつくる小学生」。（2025年度福島民報出版文化賞正賞）

著者や当時子どもたちなどによるトークセッション、語り部や書籍に関する展示などに加え、書籍をもとにした映像化の可能性にも光を当てながら、田村市都路町のリアルにふれる2日間です。



「未来をつくる小学生」

著者：根内 喜代重（こんない きよしげ）

田村市教育委員。1959年福島県生まれ。1983年福島県公立学校教員。東日本大震災発生時、田村市教育委員会主任指導主事として学校教育の正常化にあたる。2014～15年田村市立古道小学校長を務め、約3年間の避難生活からの帰還後、地域の教育力を活かした特色ある教育を推進している。3.11伝承ロード「ふくしま伝えびと」。

展示ならびに企画内容は予告なく変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

7/4
土

13:30-15:00

(研修室)

定員60人

トークセッション

帰還した小学校がめざした教育
- 学校には地域がある -



著者をファシリテーターに、当時の子どもたちや関係者などが体験談を交えて自由に意見交換を行います。 * 田村市長出席予定

特別語り部

震災を乗り越えて
- 未来をつくる小学生 -

7/4・5

①10:00- ②11:15-

(研修室) 定員60人



語り部...根内喜代重・当時の関係者

展示会

震災は、都路の学校と地域に
何を問いかけたのか

7/4・5

9:00-17:00

(エントランス)

※書籍、キュウリジャムを販売します

